

1 はじめに

会員の皆様こんにちは、平成20年度から会長でお世話になっている松本勝雄です。よろしくお願いたします。

さて、校友会活動はこれまで名簿の作成、総会の開催、講演会、現地見学会が主なものです。しかしながら会員の皆様にその活動状況をお伝えする機会があまりありませんでした。このため、会費を頂いている会員の皆様に校友会活動の状況を少しでもお伝えすることが重要と考え、広報を作成することといたしました。

内容など至らないところもあるかと存じますが、趣旨をお酌み取りいただきご覧頂けると幸いです。

2 平成21年度の活動状況

○幹事会 平成21年7月15日(水) (於)大宮パイオランドホテル

事務局と幹事さんにお集まりいただき、平成21年度の名簿作成と会費の徴収をお願いすると共に平成20年度事業計画と平成21年度事業計画(案)について説明いたしました。幹事の皆さんには大変ご苦勞をおかけいたしました。ありがとうございました。出席者は29人でした。

○役員会・幹事会 平成21年9月16日(水) (於)大宮パイオランドホテル

役員と幹事さんにお集まりいただき、事務局から平成21年の総会議案(事業計画、予算、決算及び役員の改選について)をご審議いただきました。出席者は35人でした。

○平成21年度総会 平成21年10月24日(土) (於)コミュニティプラザ・コルソ



来賓として理工学部から井上勝夫教授、理工学部校友会の近藤勉副会長、生産工学部から小田部明教授、生産工学部校友会の阿久津恒己常任幹事(土木部会)、工学部から高橋迪夫教授、工学部校友会の中野伍郎副会長また日本大学校友会埼玉県支部から野澤孝道さまをお招きし総会を開催し議案は原案のとおり承認されました。

総会及び講演会の終了後、先生方を交え有意義に懇親会を実施しました。参加者は61人でした。参加して頂ける方々がもっと多ければ良いんですが。次回は

ぜひ皆さん声を掛け合って参加をお願いいたします。

○講演会 平成21年10月24日(土) (於)コミュニティプラザ・コルソ



総会終了後、県土整備部建設管理課副課長の川村一峰さんから「総合評価方式について」同じく水辺再生課主査の永井儀男さんから「川の再生の取組について」県政の最新の取り組みをご講演いただきました。

「総合評価方式について」は、平成17年4月に「公共工事の品質確保の促進に関する法律」(いわゆる品確法)が施行されております。

埼玉県でも、「価格競争」から「価格と品質で総合的に優れた調達」への転換を図るため、平成18年度からの試行結果を踏まえ、平成21年度から本格的に

導入しています。このテーマは、会員の方からご要望をいただいたテーマです。

「川の再生の取組について」は、実は埼玉県は河川の県土に占める割合が日本一、また荒川の川幅も日本一であり、水辺空間は「ゆとりとチャンスの埼玉」を目指す上で重要な要素となっており、河川を清流に戻すという川の再生に対する取組の講演でした。

校友会は、官民間問わず一つ学舎の下で学んだ者達との技術の向上と相互の親睦を図ることが目的でもありますので、講演会では、現場からの近況報告をいただき、ご参加いただいている諸先輩方からのご意見もいただき、技術の向上に活かせる有意義な会になったと思います。

#### ○現地見学会 平成22年2月20日(土) (於)千葉県佐原市



千葉県佐原市の街づくりを視察と言うことで「佐原の小江戸めぐり」を実施いたしました。佐原市は利根川の水運を利用し江戸との交流が隆盛をきわめ、醸造業や商業が大いに発展しました。

このため、江戸から明治期は立派な建物が建てられ現在も当時の建物が残っており、その建物を生かしながら街づくりが進められています。国から重要伝統的建造物群保存地区の指定を受けています。

また、日本で最初の実測日本地図を作った伊能忠敬の生誕地でもあり、伊能忠敬の記念館があります。

当日はボランティアさん(御歳84歳、すごく元気です)の案内により、伊能忠敬がどんな風に測量をしたかとか当時の測量の器具の説明など大変勉強になりました。

この見学会は、会員の技術の向上ばかりでなく、土木技術や技術者に対する理解を深めていただくことも目的として、会員のご家族や恋人にも参加を頂いております。

これを機会に、お母さんには、お父さんの仕事を感じていただけたかな?子供達にも感じていただき将来の土木技術者になって頂けるかな?と思っています。

参加者は65人でした。ちなみに先輩の方々に多く参加していただきましたので参加者の平均年齢は53.6歳でした。ご参加ありがとうございました。次回もよろしく願いたします。

\* 校友会行事は、いつも休日です。又任意の団体ですので行事を行うためには「縁の下の力持ち」が必要です。日頃から力持ちの大高智之事務局長を始め部員の皆さんにはご協力を頂き感謝いたします。

平成22年3月発行